

## 夢洲 IR カジノ「環境影響評価」

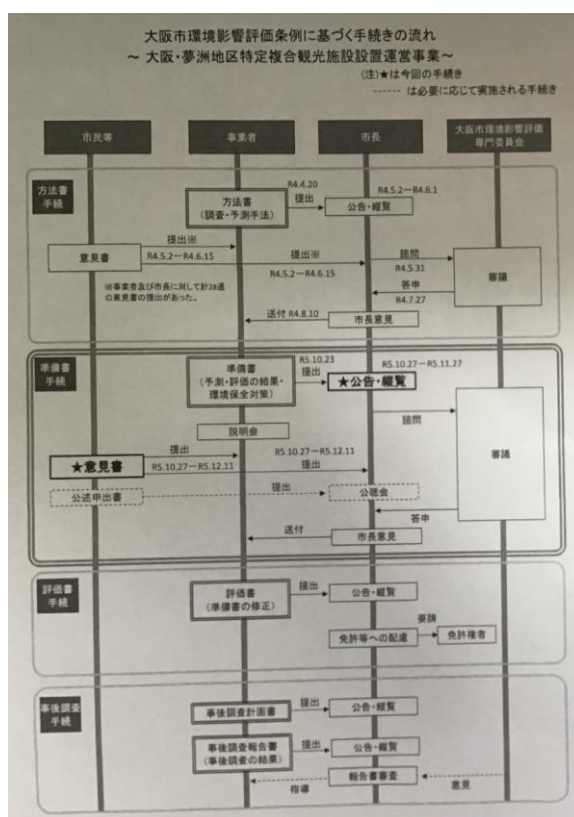
昨日 27 日から「大阪・夢洲地区特定観光施設設置運営事業 環境影響評価準備書」  
 公告・縦覧が始まった。写真は大阪市環境影響評価条例に基づく手続きの流れ。

夢洲 IR カジノ環境影響評価（アセス）は、昨年 5 月に方法書（調査・予測方法）が  
 公告・縦覧された。市民から意見書が提出されたあと、大阪市環境影響評価専門委員会  
 に諮問、答申を経て、市長意見が事業者へ送付された。

先月 28 日に夢洲 IR カジノ計画が正式に締結され、それを待っていたように、事業  
 者がアセス準備書（予測・評価の結果・環境保全対策）を提出。11 月 27 日まで公告・  
 縦覧され、市民等による意見書は 12 月  
 11 日まで。

この間に事業者による説明会が此花区  
 などで開催される。12 月 11 日以降に、  
 環境局から公述申出書の案内があり、市  
 民等から提出があれば公聴会が行われる。  
 準備書が環境影響専門委員会に諮問され、  
 その答申を受けた市長意見が、事業者に  
 送付される。

事業者は評価書（準備書の修正）を提  
 出し、公告・縦覧される。評価書の公告・  
 縦覧の手続きを経ると、事業者は IR 工  
 事を着手できることになる。24 日の環境  
 局・IR 推進局との協議では、来年夏頃に  
 工事着手の予定。IR カジノ事業者の事業  
 前提条件が充足され、「解除権」が失効。  
 夏頃までに、アセス評価書が確定される  
 スケジュールのようだ。



昨年 5 月から公告・縦覧されたアセス方法書に対して、次のような意見書を提出した。

- ・方法書の最大の問題点として、先行する万博アセスをまったく無視していることだ。IR 予定地は万博会場と隣接しており、万博アセスの成果を踏まえるべきでないか。
- ・事業者による予定地のボーリング調査などが明記されておらず、軟弱地盤の夢洲の地盤沈下・液状化などの土地課題対策についても検討すべきではないか。
- ・「SDGs の達成に貢献するサステイナブルな IR をめざす」という指摘は大いに疑問。
- ・夢洲のコンテナターミナルなどを含めた複合的なアセスが欠かせないなど。

こうした意見書の指摘が準備書にどう反映されているか、じっくり精査していこう。

(2023 年 10 月 28 日)